

# 2021 年度 指導教員一覽

大学院案内・教員紹介（追補版）

大学院入学試験・2月試験

駒澤大学大学院

## 歴史学専攻記載内容の訂正

歴史学専攻の指導教員が一部変更となりました。

つきましては、『2021年度指導教員一覧大学院案内・教員紹介（追補版）』4ページ記載内容を、次のとおり訂正いたします。

- ・訂正箇所：「日本私学演習Ⅲ」の追加  
「西洋私学演習Ⅴ」の追加  
「日本史学研究指導Ⅱ」の削除

〈訂正後〉

### 人文科学研究科 歴史学専攻

2021年度予定

〈指導教員の選択〉

修士課程は演習科目担当者の太枠内から、  
博士後期課程は研究指導科目担当者の太枠内から、選択してください。

#### ▼修士課程

##### 日本史学コース

演習科目名	担当者
日本史学演習Ⅰ	瀧音 能之
日本史学演習Ⅲ	未定
日本史学演習Ⅳ	林 譲
日本史学演習Ⅴ	中野 達哉
日本史学演習Ⅵ	菅野 洋介
日本史学演習Ⅶ	小泉 雅弘
日本史学演習Ⅷ	熊本 史雄

##### 東洋史学コース

演習科目名	担当者
東洋史学演習Ⅰ	石井 仁
東洋史学演習Ⅱ	中村 淳

##### 西洋史学コース

演習科目名	担当者
西洋史学演習Ⅰ	大城 道則
西洋史学演習Ⅱ	高田 良太
西洋史学演習Ⅲ	佐々木 真
西洋史学演習Ⅴ	未定

##### 考古学コース

演習科目名	担当者
考古学演習Ⅰ	寺前 直人
考古学演習Ⅲ	角道 亮介

#### ▼博士後期課程

研究指導科目名	担当者
日本史学研究指導Ⅰ	瀧音 能之
日本史学研究指導Ⅲ	林 譲
日本史学研究指導Ⅳ	中野 達哉
日本史学研究指導Ⅵ	小泉 雅弘
日本史学研究指導Ⅶ	熊本 史雄
東洋史学研究指導Ⅰ	石井 仁
東洋史学研究指導Ⅱ	中村 淳
西洋史学研究指導Ⅰ	大城 道則
西洋史学研究指導Ⅱ	佐々木 真
考古学研究指導Ⅰ	寺前 直人
考古学研究指導Ⅲ	角道 亮介

## 社会学専攻記載内容の訂正

社会学専攻の指導教員が一部変更となりました。

つきましては、『2021年度指導教員一覧大学院案内・教員紹介（追補版）』5ページ記載内容を、次のとおり訂正いたします。

- ・訂正箇所：松信ひろみ教授の太枠を外す

〈訂正後〉

### 人文科学研究科 社会学専攻

2021年度予定

〈指導教員の選択〉

修士課程は演習科目担当者の太枠内から、  
博士後期課程は研究指導科目担当者の太枠内から、選択してください。

#### ▼修士課程

演習科目名	担当者
文化社会学演習/教育社会学演習	片岡 栄美
産業社会学演習/国際社会学演習	山田 信行
地域社会学演習/社会意識論演習	濱田 国佑
家族社会学演習/ジェンダー論演習	松信ひろみ
メディア社会論演習/ジャーナリズム論演習	深澤 弘樹
市民社会論演習/ソーシャル・イノベーション論演習	李 妍焱
公的扶助論演習 a / 公的扶助制度論演習 b	伊藤 秀一
社会保障実務演習/社会福祉実務演習	長尾 譲治
障害者福祉演習/職業リハビリテーション演習	桐原 宏行
高齢者福祉演習/高齢者ソーシャルワーク演習	東條 光雅
ソーシャルワーク実践演習/ソーシャルワーク研究法演習	荒井 浩道
精神科ソーシャルワーク演習 a・b ※	佐藤 光正
地域福祉演習/地域福祉方法論演習	川上 富雄

#### ▼博士後期課程

研究指導科目名	担当者
文化社会学研究指導	片岡 栄美
産業社会学研究指導	山田 信行
地域社会学研究指導	濱田 国佑
家族社会学研究指導	松信ひろみ
情報社会学研究指導 I	深澤 弘樹
集合行動論研究指導	李 妍焱
社会福祉学研究指導 I	伊藤 秀一
社会福祉学研究指導 II	東條 光雅
社会福祉学研究指導 III	長尾 譲治
社会福祉学研究指導 IV	桐原 宏行
社会福祉学研究指導 V	荒井 浩道
社会福祉学研究指導 VI ※	佐藤 光正

※印：2021年度休講予定

## 経営学専攻記載内容の訂正

経営学専攻の指導教員が一部変更となりました。

つきましては、『2021年度指導教員一覧大学院案内・教員紹介（追補版）』9ページ記載内容を、次のとおり訂正いたします。

- ・訂正箇所：青木茂樹教授の太枠を外す

〈訂正後〉

### ▼修士課程

分野	演習科目名	担当者
経営学	経営学史特講	中川 淳平
	経営管理論特講	渡辺伊津子
	経営組織論特講	日野 健太
	経営労務論特講	鹿嶋 秀晃
	生産管理論特講	藤原 篤志
	経営戦略論特講	中村 公一
	経営史特講	豊田 太郎
	現代企業論特講	小本 恵照
	ベンチャー企業論特講	小野瀬 拡
	企業と社会特講	村山 元理
マーケティング	マーケティング論特講	兼村 栄哲
	マーケティングコミュニケーション論特講	中野 香織
	流通システム論特講	青木 茂樹
	消費者行動論特講	菅野 佐織
	マーケティング・サイエンス特講	若山 大樹
経営科学	経営科学特講	小沢 利久
	経営数学特講	飯田 哲夫
	統計学特講	長 國強
	経営システム論特講	高井 徹雄
	情報科学特講	西村 和夫
会計学	原価計算論特講	岸田 隆行
	管理会計論特講	猿山 義広
	租税法特講	高木 克己
	財務会計論特講	桑原 正行
	国際会計論特講	河合由佳理
経済学	経済政策特講	山邑 紘史
	経済社会学特講	明石 博行
	金融論特講	福田 慎
	日本経済史特講	中村 一成

### ▼博士後期課程

研究指導科目名	担当者
マーケティング論研究指導	兼村 栄哲
流通システム論研究指導	青木 茂樹
経営戦略論研究指導	中村 公一
経営管理論研究指導	渡辺伊津子
企業論研究指導	小本 恵照
経営システム論研究指導	高井 徹雄
財務会計論研究指導	桑原 正行
管理会計論研究指導	猿山 義広
税務会計論研究指導	高木 克己
経営組織論研究指導	日野 健太
経済社会学研究指導	明石 博行
生産管理論研究指導	藤原 篤志
ベンチャー企業論研究指導	小野瀬 拡

## はじめに

本大学院入学試験出願の際は、ネット出願時及び大学院入学志願書に、「希望する指導教員名」または「希望する分野」を記入することになっています（一部の専攻を除く）。記入の際は、この冊子『2021年度指導教員一覧』と、『2021年度大学院案内』を参照してください。なお、記入方法の詳細については、「大学院入学試験要項」を確認してください。

科目及び担当者は変更になる場合がありますので、本学ホームページをご確認ください。

URL : <https://www.komazawa-u.ac.jp/academics/graduate/>

## 目次

仏教学研究科	
仏教学専攻	1
人文科学研究科	
国文学専攻	2
英米文学専攻	2
地理学専攻	3
歴史学専攻	4
社会学専攻	5
心理学専攻	5
経済学研究科	
経済学専攻	6
商学研究科	
商学専攻	7
法学研究科	
公法学専攻	8
私法学専攻	8
経営学研究科	
経営学専攻	9
医療健康科学研究科	
診療放射線学専攻	10
グローバル・メディア研究科	
1. グローバル・メディア専攻	11
大学院案内（追補版）	12

※2020年4月に人文科学研究科仏教学専攻を仏教学研究科仏教学専攻に改組しました。

〈指導教員の選択〉

ネット出願時及び大学院入学志願書における「希望する指導教員名」欄は、未記入でも可とします。  
 仏教学専攻の指導教員は、この欄の記入・未記入にかかわらず、入学後に決定されます。

▼修士課程

演習科目名	担当者
宗学特講Ⅰ	岩永 正晴
宗学特講Ⅱ	角田 泰隆
宗学特講Ⅲ	石井 清純
禅学特講Ⅰ	晴山 俊英
禅学特講Ⅱ	松田 陽志
インド仏教特講Ⅰ	矢島 道彦
インド仏教特講Ⅲ	加納 和雄
インド哲学特講	金沢 篤
チベット仏教特講Ⅰ	四津谷孝道
チベット仏教特講Ⅱ	木村 誠司
中国仏教特講Ⅰ	吉村 誠
中国仏教特講Ⅲ	奥野 光賢
中国禅宗史特講Ⅰ	小川 隆
中国禅宗史特講Ⅱ	程 正
日本仏教特講Ⅱ	飯塚 大展
日本禅宗史特講Ⅰ	佐藤 秀孝
仏教学特講Ⅱ	山口 弘江
仏教学特講Ⅲ	徳野 崇行
仏教美術史特講	村松 哲文
宗教人類学特講	矢野 秀武

▼博士後期課程

研究指導科目名	担当者
宗学研究指導Ⅰ	岩永 正晴
宗学研究指導Ⅱ	石井 清純
宗学研究指導Ⅲ	角田 泰隆
禅学研究指導Ⅰ	晴山 俊英
インド哲学研究指導	金沢 篤
チベット仏教研究指導Ⅰ	四津谷孝道
チベット仏教研究指導Ⅱ	木村 誠司
中国仏教研究指導Ⅰ	吉村 誠
中国仏教史研究指導	奥野 光賢
中国禅宗史研究指導	小川 隆
日本仏教研究指導	飯塚 大展
日本禅宗史研究指導	佐藤 秀孝
仏教学研究指導Ⅱ	山口 弘江
宗教学研究指導	矢野 秀武

〈指導教員の選択〉

国文学専攻は入学後に指導教員を決定しますので、出願時に指導教員名を記入する必要はありません。

▼修士課程

演習科目名	担当者
国語学演習Ⅰ	土井 光祐
国語学演習Ⅱ	三樹 陽介
古代前期文学演習	中嶋 真也
古代後期文学演習Ⅰ	松井 健児
中世文学演習Ⅰ	田中 徳定
中世文学演習Ⅱ ※	櫻井 陽子
近世文学演習Ⅰ	近衛 典子
近代文学演習Ⅰ	勝原 晴希
近代文学演習Ⅱ	岡田 豊
近代文学演習Ⅲ	倉田 容子
漢文学演習	山口 智弘

▼博士後期課程

研究指導科目名	担当者
国語学研究指導Ⅰ	土井 光祐
国語学研究指導Ⅱ	三樹 陽介
古代前期文学研究指導	中嶋 真也
古代後期文学研究指導Ⅰ	松井 健児
中世文学研究指導Ⅰ	田中 徳定
中世文学研究指導Ⅱ ※	櫻井 陽子
近世文学研究指導Ⅰ	近衛 典子
近代文学研究指導Ⅰ	勝原 晴希
近代文学研究指導Ⅱ	岡田 豊
近代文学研究指導Ⅲ	倉田 容子
漢文学研究指導	山口 智弘

※印：2021年度休講予定

〈指導教員の選択〉

英米文学専攻は入学後に指導教員を決定しますので、出願時に指導教員名を記入する必要はありません。

▼修士課程

演習科目名	担当者
英文学演習Ⅰ	逢見 明久
英文学演習Ⅱ	川崎 明子
英文学演習Ⅴ	モート, セーラ
米文学演習Ⅱ	東 雄一郎
米文学演習Ⅲ	本村 浩二
英語学演習Ⅱ	佐藤 真二

▼博士後期課程

研究指導科目名	担当者
英文学研究指導Ⅰ	逢見 明久
英文学研究指導Ⅴ	モート, セーラ
米文学研究指導Ⅱ	東 雄一郎
米文学研究指導Ⅲ	本村 浩二
英語学研究指導Ⅰ	佐藤 真二

〈指導教員の選択〉

修士課程は演習科目担当者の太枠内から、  
博士後期課程は研究指導科目担当者の太枠内から、選択してください。

▼修士課程

演習科目名	担当者
地理学特講Ⅱ	橋詰 直道
自然地理学特講Ⅱ	鈴木 秀和
自然地理学特講Ⅲ	平井 幸弘
人文地理学特講Ⅱ	土谷 敏治
人文地理学特講Ⅲ	(新任教員を予定)
人文地理学特講Ⅰ	小田 匡保
地誌学特講Ⅰ	小野 映介
地誌学特講Ⅱ	高橋健太郎
地図学特講Ⅱ	田中 靖
地域文化研究特講Ⅰ	須山 聡
地域環境研究特講Ⅱ	鈴木 重雄
地域環境研究特講Ⅰ	江口 卓

▼博士後期課程

研究指導科目名	担当者
地理学研究指導	未定
自然地理学研究指導Ⅰ	江口 卓
自然地理学研究指導Ⅱ	平井 幸弘
人文地理学研究指導Ⅰ	土谷 敏治
人文地理学研究指導Ⅱ	高橋健太郎
人文地理学研究指導Ⅲ	小田 匡保
地誌学研究指導Ⅰ	小野 映介
地誌学研究指導Ⅱ	橋詰 直道
地誌学研究指導Ⅲ	須山 聡
地図学研究指導	田中 靖

## 〈指導教員の選択〉

修士課程は演習科目担当者の太枠内から、  
博士後期課程は研究指導科目担当者の太枠内から、選択してください。

## ▼修士課程

## 日本史学コース

演習科目名	担当者
日本史学演習Ⅰ	瀧音 能之
日本史学演習Ⅲ	未定
日本史学演習Ⅳ	林 譲
日本史学演習Ⅴ	中野 達哉
日本史学演習Ⅵ	菅野 洋介
日本史学演習Ⅶ	小泉 雅弘
日本史学演習Ⅷ	熊本 史雄

## 東洋史学コース

演習科目名	担当者
東洋史学演習Ⅰ	石井 仁
東洋史学演習Ⅱ	中村 淳

## 西洋史学コース

演習科目名	担当者
西洋史学演習Ⅰ	大城 道則
西洋史学演習Ⅱ	高田 良太
西洋史学演習Ⅲ	佐々木 真
西洋史学演習Ⅴ	未定

## 考古学コース

演習科目名	担当者
考古学演習Ⅰ	寺前 直人
考古学演習Ⅲ	角道 亮介

## ▼博士後期課程

研究指導科目名	担当者
日本史学研究指導Ⅰ	瀧音 能之
日本史学研究指導Ⅲ	林 譲
日本史学研究指導Ⅳ	中野 達哉
日本史学研究指導Ⅵ	小泉 雅弘
日本史学研究指導Ⅶ	熊本 史雄
東洋史学研究指導Ⅰ	石井 仁
東洋史学研究指導Ⅱ	中村 淳
西洋史学研究指導Ⅰ	大城 道則
西洋史学研究指導Ⅱ	佐々木 真
考古学研究指導Ⅰ	寺前 直人
考古学研究指導Ⅲ	角道 亮介

〈指導教員の選択〉

修士課程は演習科目担当者の太枠内から、  
博士後期課程は研究指導科目担当者の太枠内から、選択してください。

▼修士課程

演習科目名	担当者
文化社会学演習/教育社会学演習	片岡 栄美
産業社会学演習/国際社会学演習	山田 信行
地域社会学演習/社会意識論演習	濱田 国佑
家族社会学演習/ジェンダー論演習	松信ひろみ
メディア社会論演習/ジャーナリズム論演習	深澤 弘樹
市民社会論演習/ソーシャル・イノベーション論演習	李 妍焱
公的扶助論演習 a / 公的扶助制度論演習 b	伊藤 秀一
社会保障実務演習/社会福祉実務演習	長尾 譲治
障害者福祉演習/職業リハビリテーション演習	桐原 宏行
高齢者福祉演習/高齢者ソーシャルワーク演習	東條 光雅
ソーシャルワーク実践演習/ソーシャルワーク研究法演習	荒井 浩道
精神科ソーシャルワーク演習 a・b ※	佐藤 光正
地域福祉演習/地域福祉方法論演習	川上 富雄

▼博士後期課程

研究指導科目名	担当者
文化社会学研究指導	片岡 栄美
産業社会学研究指導	山田 信行
地域社会学研究指導	濱田 国佑
家族社会学研究指導	松信ひろみ
情報社会学研究指導 I	深澤 弘樹
集合行動論研究指導	李 妍焱
社会福祉学研究指導 I	伊藤 秀一
社会福祉学研究指導 II	東條 光雅
社会福祉学研究指導 III	長尾 譲治
社会福祉学研究指導 IV	桐原 宏行
社会福祉学研究指導 V	荒井 浩道
社会福祉学研究指導 VI ※	佐藤 光正

※印：2021年度休講予定

〈指導教員の選択〉

心理学専攻は入学後に指導教員を決定しますので、  
出願時に指導教員名を記入する必要はありません。

▼修士課程

心理学コース

演習科目名	担当者
認知心理学研究 a・b	永田 陽子
行動分析学研究 a・b	久保 尚也
社会心理学研究 a・b	長谷川孝治
生理心理学研究 a・b	岩城 達也

臨床心理学コース

演習科目名	担当者
臨床心理学研究 (1) a・b	永田 陽子
臨床心理学研究 (2) a・b	鈴木 常元
臨床心理学研究 (3) a・b	久羽 康
臨床心理学研究 (4) a・b ※	八巻 秀
臨床心理学研究 (5) a・b	藤田 博康
臨床心理学研究 (6) a・b	遠藤 歩
臨床心理学研究 (7) a・b	未定

▼博士後期課程

研究指導科目名	担当者
心理学研究指導 I a・b	藤田 博康
心理学研究指導 II a・b	遠藤 歩
心理学研究指導 III a・b	未定
心理学研究指導 IV a・b	岩城 達也
心理学研究指導 V a・b	長谷川孝治
心理学研究指導 VII a・b	永田 陽子

※印：2021年度休講予定

〈指導教員の選択〉

修士課程は演習科目担当者の太枠内から、  
博士後期課程は研究指導科目担当者の太枠内から、選択してください。

▼修士課程

研究コース/キャリアアップコース

演習科目名	担当者
マルクス経済学特講a・b	明石 英人
ゲーム理論特講a・b	西村 健
マルクス経済学応用特講a・b	堀内 健一
ミクロ経済学理論特講a・b ○	松井 柳平
法と制度の経済学特講a・b ☆	村松 幹二
応用統計学特講 〈前期〉 ☆	矢野 浩一
応用マクロ経済学特講 〈後期〉 ☆	
経済社会学特講a・b	羽島 有紀
経済学史特講a・b ※	宮田 惟史
人口論特講a・b	増田 幹人
経済史特講a・b	浅田 進史
日本経済史特講a・b	渡邊 恵一
西洋経済史特講a・b	水野 祥子
経済政策論特講a・b	井上 智洋
農業政策論特講a・b ☆	溝手 芳計
金融論特講a・b	代田 純
財政学特講a・b	江口 允崇
公共経済学特講a・b	鈴木 伸枝
産業組織論特講a・b ☆	舘 健太郎
国際経済論特講a・b	福島 浩治
日本経済論特講a・b	小林 正人
アジア経済論特講a・b	鄭 章淵
中国経済論特講a・b	王 穎琳
現代アメリカ経済論特講	小倉将志郎
ヨーロッパ経済論特講	田中 綾一
新興国経済論特講a・b	山中 達也
教育経済論特講a・b	北條 雅一

税制・財務コース

演習科目名	担当者
租税法特講a・b ☆	柳 裕治

▼博士後期課程

研究指導科目名	担当者
マルクス経済学研究指導	明石 英人
ゲーム理論研究指導	西村 健
ミクロ経済学理論研究指導	松井 柳平
応用経済学・マクロ経済学研究指導	矢野 浩一
法と制度の経済学研究指導	村松 幹二
経済学史研究指導 ※	宮田 惟史
人口論研究指導	増田 幹人
経済史研究指導	浅田 進史
日本経済史研究指導	渡邊 恵一
経済政策論研究指導	井上 智洋
農業政策論研究指導	溝手 芳計
金融論研究指導	代田 純
財政学研究指導	江口 允崇
公共経済学研究指導	鈴木 伸枝
産業組織論研究指導	舘 健太郎
国際経済論研究指導	福島 浩治
日本経済論研究指導	小林 正人
アジア経済論研究指導	鄭 章淵
西洋経済史研究指導	未定
中国経済論研究指導	未定

a : 前期科目

b : 後期科目

☆印：2020年度夜間開講科目

○印：2020年度土曜日開講科目

※印：2021年度休講予定

〈指導教員の選択〉

修士課程は演習科目担当者の太枠内から、選択してください。

なお、外国人留学生入学試験受験者は、指導を希望する教員の名前ではなく、研究したいテーマに適した「マーケティング・流通」「経営・情報」「貿易・金融」または「会計」のいずれかの分野を選択してください。

本研究科の外国人留学生に対する指導体制や指導教員・各分野に関する情報は、商学研究科 Webページに掲載します。外国人留学生は、必ず読んでください。

・商学研究科 受験情報Webページ

<https://www.komazawa-u.ac.jp/gakubu/keizai/ssyo-exami.html>

博士後期課程は、研究指導科目担当者の太枠内から選択してください。

▼修士課程

商学・経営分野

専門 選択	演習科目名	担当者
マ ー ケ テ ィ ン グ ・ 流 通	商業学特講a・b	大野 哲明
	消費経済論特講a・b ※	姉齒 暁
	流通論特講a・b	番場 博之
	マーケティング論特講Ⅰa・b	中西 大輔
	マーケティング論特講Ⅱa・b	吉村 純一
貿 易 ・ 金 融	証券市場論特講a・b	深見 泰孝
	貿易論特講a・b	吉田 真広
	国際金融論特講a・b	吉田 真広
	グローバルファイナンス論特講a・b	小西 宏美
経 営 ・ 情 報	経営学特講Ⅰa・b	山田 雅俊
	経営管理論特講a・b ☆1	岩波 文孝
	現代企業論特講a・b ☆2	松田 健
	人的資源管理論特講a・b	堀 龍二
	地域経済論特講a・b ☆	長山 宗広
	非営利組織論特講a・b	松本 典子
	アントレプレナーシップ論特講a・b ☆	吉田健太郎
	情報システム論特講a・b ☆2	中濟 光昭

会計分野

専門 選択	演習科目名	担当者
会 計 学	会計学特講Ⅱa・b	李 焱
	管理会計論特講a・b	石川 祐二
	原価計算論特講a・b	高野 学
	会計監査論特講a・b	森田 佳宏
	国際会計論特講a・b	内山 峰男

租税法分野

専門 選択	演習科目名	担当者
租 税 法	租税法特講Ⅰa・b	北口 りえ
	租税法特講Ⅱa・b	柳 裕治

《租税法分野担当者を指導教員として希望する場合》

入学試験の専門選択試験科目として、「租税法」と「大学レベルの商学に関する基礎知識」を受験する必要があります。

▼博士後期課程

研究指導科目名	担当者
消費経済論研究指導 ※	姉齒 暁
商業学研究指導	大野 哲明
流通政策論研究指導	番場 博之
国際金融論研究指導	吉田 真広
グローバルファイナンス論研究指導	小西 宏美
情報システム論研究指導 ☆	中濟 光昭
マーケティング論研究指導Ⅰ	中西 大輔
マーケティング論研究指導Ⅱ	吉村 純一
経営学研究指導	山田 雅俊
人的資源管理論研究指導	堀 龍二
地域経済論研究指導	長山 宗広
経営管理論研究指導	岩波 文孝
現代企業論研究指導	松田 健
非営利組織論研究指導	松本 典子
アントレプレナーシップ論研究指導	吉田健太郎
管理会計論研究指導	石川 祐二
原価計算論研究指導	高野 学
会計監査論研究指導	森田 佳宏
租税法研究指導	北口 りえ

a：前期科目

b：後期科目

☆印：2020年度夜間開講科目

☆1印：2020年度修士1年生は夜間開講科目

☆2印：2020年度修士2年生は夜間開講科目

※印：2021年度休講予定科目

〈指導教員の選択〉

修士課程は演習科目担当者の太枠内から、  
博士後期課程は研究指導科目担当者の太枠内から選択してください。

▼修士課程

演習科目名	担当者
憲法研究 I	三宅 雄彦
憲法研究 II	奥 忠憲
行政法研究 I	高田 実宗
行政法研究 II	塩入みほも
刑法研究 I	原口 伸夫
刑法研究 III	富樫 景子
刑事訴訟法研究	田中 優企
国際公法研究	王 志安
法史学研究(西洋)	北野かほる
法哲学研究 ※	高橋 洋城
租税法研究	赤松 晃
社会保障法研究	原田啓一郎

▼博士後期課程

研究指導科目名	担当者
憲法研究指導 I	三宅 雄彦
行政法研究指導 II	塩入みほも
刑法研究指導	原口 伸夫
刑事訴訟法研究指導	田中 優企
国際公法研究指導	王 志安
法史学研究指導(西洋)	北野かほる
法哲学研究指導 ※	高橋 洋城
租税法研究指導	赤松 晃
社会保障法研究指導	原田啓一郎

※印：2021年度休講予定

〈指導教員の選択〉

修士課程は演習科目担当者の太枠内から、  
博士後期課程は研究指導科目担当者の太枠内から選択してください。

▼修士課程

演習科目名	担当者
民法研究 I	福田 誠治
民法研究 III	向田 正巳
民法研究 IV	熊谷 芝青
民法研究 V	竹中 智香
民法研究 VI	中田 英幸
商法研究 I	坂本 達也
商法研究 II	中濱 義章
商法研究 III	三浦 康平
商法研究 IV	井上 健一
労働法研究	篠原 信貴
民事訴訟法研究	間瀬 清史
民事執行・保全法研究	岡田 好弘
知的財産権法研究 ☆	小嶋 崇弘

▼博士後期課程

研究指導科目名	担当者
民法研究指導 I	福田 誠治
民法研究指導 III	向田 正巳
民法研究指導 IV	竹中 智香
民法研究指導 V	熊谷 芝青
民法研究指導 VI	中田 英幸
商法研究指導 I	坂本 達也
商法研究指導 II	井上 健一
商法研究指導 III	中濱 義章
商法研究指導 IV	三浦 康平
労働法研究指導	篠原 信貴
民事訴訟法研究指導	間瀬 清史
民事執行・保全法研究指導	岡田 好弘

☆印：2022年度より開講予定

〈指導教員の選択〉

修士課程は演習科目担当者の太枠内から、  
博士後期課程は研究指導科目担当者の太枠内から選択してください。

〈修士課程 入学試験・専門選択試験科目の選択〉

専門選択試験科目は下記の「分野」と同じ科目を選択してください。

▼修士課程

分野	演習科目名	担当者
経営学	経営学史特講	中川 淳平
	経営管理論特講	渡辺伊津子
	経営組織論特講	日野 健太
	経営労務論特講	鹿嶋 秀晃
	生産管理論特講	藤原 篤志
	経営戦略論特講	中村 公一
	経営史特講	豊田 太郎
	現代企業論特講	小本 恵照
	ベンチャー企業論特講	小野瀬 拓
	企業と社会特講	村山 元理
マーケティング	マーケティング論特講	兼村 栄哲
	マーケティングコミュニケーション論特講	中野 香織
	流通システム論特講	青木 茂樹
	消費者行動論特講	菅野 佐織
	マーケティング・サイエンス特講	若山 大樹
経営科学	経営科学特講	小沢 利久
	経営数学特講	飯田 哲夫
	統計学特講	長 國強
	経営システム論特講	高井 徹雄
	情報科学特講	西村 和夫
会計学	原価計算論特講	岸田 隆行
	管理会計論特講	猿山 義広
	租税法特講	高木 克己
	財務会計論特講	桑原 正行
	国際会計論特講	河合由佳理
経済学	経済政策特講	山邑 紘史
	経済社会学特講	明石 博行
	金融論特講	福田 慎
	日本経済史特講	中村 一成

▼博士後期課程

研究指導科目名	担当者
マーケティング論研究指導	兼村 栄哲
流通システム論研究指導	青木 茂樹
経営戦略論研究指導	中村 公一
経営管理論研究指導	渡辺伊津子
企業論研究指導	小本 恵照
経営システム論研究指導	高井 徹雄
財務会計論研究指導	桑原 正行
管理会計論研究指導	猿山 義広
税務会計論研究指導	高木 克己
経営組織論研究指導	日野 健太
経済社会学研究指導	明石 博行
生産管理論研究指導	藤原 篤志
ベンチャー企業論研究指導	小野瀬 拓

## 〈指導教員の選択〉

修士課程は演習科目担当者の太枠内から、  
博士後期課程は演習科目担当者の太枠内から選択してください。

## ▼修士課程

## 診療画像系

診療画像学コース・がん地域遠隔画像診断支援技術者養成コース・  
分子イメージング解析技術者養成コース

演習科目名	担当者
診療画像学特別研究Ⅰ・Ⅱ	志村 一男
診療画像学特別研究Ⅰ・Ⅱ	森口 央基
診療画像学特別研究Ⅰ・Ⅱ	嶋田 守男
診療画像学特別研究Ⅰ・Ⅱ	吉川 宏起
診療画像学特別研究Ⅰ・Ⅱ	渡邊 雄一
診療画像学特別研究Ⅰ・Ⅱ	奥山 康男
診療画像学特別研究Ⅰ・Ⅱ	近藤 啓介
診療画像学特別研究Ⅰ・Ⅱ	名古 安伸
診療画像学特別研究Ⅰ・Ⅱ	馬込 大貴
診療画像学特別研究Ⅰ・Ⅱ	岡田 朋子

## 医用計測系

医用計測学コース・医学物理士養成コース

演習科目名	担当者
医用計測学特別研究Ⅰ・Ⅱ	藤田 幸男
医用計測学特別研究Ⅰ・Ⅱ	金子 順一
医用計測学特別研究Ⅰ・Ⅱ	佐藤 昌憲
医用計測学特別研究Ⅰ・Ⅱ	岡田 朋子
医用計測学特別研究Ⅰ・Ⅱ	原田 和正
医用計測学特別研究Ⅰ・Ⅱ	馬込 大貴
医用計測学特別研究Ⅰ・Ⅱ	新井 知大
医用計測学特別研究Ⅰ・Ⅱ	未定

## ▼博士後期課程

## 診療画像学コース

演習科目名	担当者
診療画像学特定研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	森口 央基
診療画像学特定研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	志村 一男
診療画像学特定研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	嶋田 守男
診療画像学特定研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	吉川 宏起
診療画像学特定研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	渡邊 雄一
診療画像学特定研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	奥山 康男
診療画像学特定研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	近藤 啓介
診療画像学特定研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	馬込 大貴

## 医用計測学コース

演習科目名	担当者
医用計測学特定研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	佐藤 昌憲
医用計測学特定研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	岡田 朋子
医用計測学特定研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	原田 和正
医用計測学特定研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	金子 順一
医用計測学特定研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	藤田 幸男
医用計測学特定研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	馬込 大貴
医用計測学特定研究Ⅰ・Ⅱ・Ⅲ	新井 知大

〈指導教員の選択〉

グローバル・メディア研究科は分野別のグループ指導となりますので、出願時には指導教員名ではなく、希望分野を記入してください。

▼修士課程

産業論分野

演習科目名	担当者
グローバル・メディア産業特別研究Ⅰ-1	山口 浩
グローバル・メディア産業特別研究Ⅰ-2	各務 洋子
グローバル・メディア産業特別研究Ⅱ-1	西岡 洋子
グローバル・メディア産業特別研究Ⅱ-2	絹川 真哉 朴 正洙 星野 真

文化論分野

授 業 科 目	担 当 者
グローバル・メディア文化特別研究Ⅰ-1	芝崎 厚士
グローバル・メディア文化特別研究Ⅰ-2	テヅカ ヨシハル
グローバル・メディア文化特別研究Ⅱ-1	高 媛
グローバル・メディア文化特別研究Ⅱ-2	阿部 康人 梅田 道生

情報論分野

授 業 科 目	担 当 者
グローバル・メディア情報特別研究Ⅰ-1	石川 憲洋
グローバル・メディア情報特別研究Ⅰ-2	服部 哲
グローバル・メディア情報特別研究Ⅱ-1	吉田 尚史
グローバル・メディア情報特別研究Ⅱ-2	平井 辰典

▼博士後期課程

産業論分野

研究指導科目名	担当者
グローバル・メディア産業研究指導Ⅰ	各務 洋子
グローバル・メディア産業研究指導Ⅱ	山口 浩
グローバル・メディア産業研究指導Ⅲ	西岡 洋子
グローバル・メディア産業研究指導Ⅳ	絹川 真哉
グローバル・メディア産業研究指導Ⅴ	朴 正洙
グローバル・メディア産業研究指導Ⅵ	

文化論分野

研究指導科目名	担当者
グローバル・メディア文化研究指導Ⅰ	芝崎 厚士
グローバル・メディア文化研究指導Ⅱ	テヅカ ヨシハル
グローバル・メディア文化研究指導Ⅲ	高 媛
グローバル・メディア文化研究指導Ⅳ	
グローバル・メディア文化研究指導Ⅴ	
グローバル・メディア文化研究指導Ⅵ	

情報論分野

研究指導科目名	担当者
グローバル・メディア情報研究指導Ⅰ	石川 憲洋
グローバル・メディア情報研究指導Ⅱ	吉田 尚史
グローバル・メディア情報研究指導Ⅲ	服部 哲
グローバル・メディア情報研究指導Ⅳ	
グローバル・メディア情報研究指導Ⅴ	
グローバル・メディア情報研究指導Ⅵ	

2021年度

# 駒澤大学 大学院案内（追補版）

KOMAZAWA UNIVERSITY GRADUATE SCHOOL

仏教学研究科

仏教学専攻

山口 弘江 准教授 専門分野：中国仏教、天台学

**研究内容** 中国で6世紀に天台智顛が確立した天台教学は、『法華経』を中心に諸経論を包摂した思想・実践体系を構築し、東アジアの仏教に大きな影響を与えました。7世紀に興起した中国禅宗もその例外ではありません。また、道元禅師の思想を考える上でも、天台教学は不可欠の要素です。

これまでの研究では、智顛最晩年に成立した『維摩経』注釈の「天台維摩経疏」を対象とし、思想面での解明に努めました。今後はさらに実践面へも視野を広げ、天台教学成立以前となる中国南北朝までの修道論の系譜や、『維摩経』の思想が禅宗に与えた影響などについて考察を加えていく予定です。

**研究業績**

1. 『天台維摩経疏の研究』、国書刊行会、2017年。
2. 「智顛の実践論よりみる『維摩経』理解の特質について」、『印度學仏教學研究』65(2)、2017年。
3. 「五部大乘経の起源に関する一考察」、『駒澤大学佛教文學研究』(21)、2018年。
4. 「『法華文句』における『維摩経』依用について」、『佛教學』(60)、2019年。
5. 「中国南北朝期における止観」、『印度學仏教學研究』68(2)、2020年。

## 吉村 純一 教授

専門分野：マーケティング論

**研究内容** 流通経済の歴史的発展段階を見通すという視点に立って、マーケティングの研究を行っています。20世紀初頭にアメリカで誕生したマーケティングは、現在では商品の流通過程において中心的な役割を果たすに至っています。特に、消費者の生活との関連でマーケティングの現代的な特徴を明らかにことが研究の中心です。より具体的には、第1に、消費研究において一大潮流をなすに至っている消費文化理論の枠組みと方法を用いて、現代的な消費生活の諸課題にアプローチしています。第2に、情報化社会の中で富と力を獲得するに至っている巨大資本に着目しながら、現代の流通過程の急速な変質にアプローチしています。

- 研究業績**
1. 「現代流通研究と消費文化理論(CCT)の可能性」『流通』(日本流通学会誌)第44号、2019年6月。
  2. 「リキッド化するノマドのライフスタイル:ノマド・オブジェとの関係を中心に」『熊本学園商学論集』第23巻、第1号、2019年2月。
  3. 『現代流通の動態と理論展開』(共編)同文館出版、2017年。
  4. 『インターネットは流通と社会をどう変えたか』(共編)中央経済社、2016年。
  5. 『マーケティングと生活世界』ミネルヴァ書房、2004年。

## 山田 雅俊 教授

専門分野：経営戦略論、イノベーション論、環境経営論

**研究内容** 環境問題、貧困・格差問題などの社会的課題を解決するために、持続可能な開発、循環型経済、脱炭素化を手段とする持続可能な社会の確立が追求されている。企業は、経済・社会・環境(triple bottom line)の相即的發展に貢献することを要請され、この社会的ニーズに応え得る経営管理(sustainable management)を確立すべく、戦略的な経営革新を試みている。

持続可能な社会における企業経営と企業競争力を研究テーマとしている。現在、様々な業界(自動車、エネルギー、住宅、光学機器など)におけるサステイナブル・マネジメント、経営戦略、イノベーションを分析対象として、現代企業の経営システムと競争力獲得の論理を検討し、経営戦略論、イノベーション論の再構築を試みている。

- 研究業績**
1. 「日本のSDGsモデルと分散型エネルギー・システムから見る企業経営の課題」日本比較経営学会編『比較経営研究』第44号、2020年4月。
  2. 「原子力発電の持続不可能性」大西勝明/小阪隆秀/田村八十一編著『現代の産業・企業と地域経済—持続可能な発展の追求—』晃洋書房、2018年5月。
  3. 「環境経営の研究方法论—環境経営システムという視点—」工業経営研究学会編『工業経営研究』Vol.31, No.2, 2017年9月。
  4. 「エネルギー産業と環境経営」所伸之編著『環境経営とイノベーション—経済と環境の調和を求めて—』文眞堂、2017年3月。
  5. “Ecological Modernization of Business Management: The Innovation of Environmental Management for Changing into Sustainable Society” Kappei Hidaka ed., *Industrial Renaissance: New Business Ideas for the Japanese Company*, Chuo University Press, Tokyo, March, 2017.

## 李 焱 講師

専門分野：会計学

**研究内容** 近年、会計基準の国際的なコンバージェンスが進行し、国際財務報告基準(IFRS)と日本基準との間に存在していた多くの差異が解消に至ったが、依然として残されている差異はいずれも重要な論点であり、その一つがヘッジ会計である。ヘッジ会計は、複雑な取引を会計的に写像するという特性があり、取引の多様性・複雑性のみならず、利益概念や財務諸表の構成要素と基礎概念との関連性という点で、会計学の深淵に接近することができる非常に興味深い分野である。ヘッジ会計については、米国基準が、IFRS及び日本基準とも異なる独自の理論に基づく会計処理を規定しており、IFRS、日本基準だけでなく、米国基準も含めた研究を行っている。

- 研究業績**
1. 「通貨オプションを用いる予定取引に関するヘッジ会計処理の検討」『駒澤大学経済学論集』第52巻第1・2号、2020年10月。
  2. 「公正価値オプションとヘッジ会計のゆくえん」『Disclosure & IR』第9号、2019年5月。
  3. 「有価証券に係る時価評価の再考察」『南山経営研究』第33巻第3号、2019年3月。
  4. 「法人税法におけるヘッジ会計の妥当性」『南山経営研究』第33巻第1号、2018年6月。
  5. 「ヘッジ会計におけるIFRSと日本基準の乖離—現物商品に係るヘッジ取引の会計処理—」『ディスクロージャーニュース』第32巻、2016年4月。

奥 忠憲 講師

専門分野：憲法

## 研究内容 1. 公務員法制研究

- ①フランスにおける公務員参加原理、及び、公務員参加法制との比較による日本における公務員の労働基本権の意義の考察、及び、公務労使関係法制の構想
- ②人事院勧告法制を中心とした人事院法制が公務員の権利利益に関する決定過程において有する意義に関する考察
- ③公益通報者保護法制や利益相反防止法制を中心とした公務員倫理法制に関する日仏比較研究

## 2. 友愛原理研究

- ①フランス法において友愛原理が有する意義に関する考察
- ②フランスにおける友愛原理に基づく不法滞在幫助罪の違憲判決や免責規定との比較による日本における同罪の合憲性や免責規定創設に関する考察

## 研究業績

1. 「フランス公務員参加法における基本原理——官公吏関係法令規律原理と労働者参加原理—— (1) (2) (3・完)」『法学論叢』183巻3号(2018年)27-55頁、184巻1号54-80頁、6号(2019年)28-53頁。
2. 「判例研究 国家公務員給与改定・臨時特例法の合憲性と人事院勧告」『法学論叢』185巻1号(2019年)113-137頁。
3. 「フランスにおける近年の公務員倫理法制度改革——フランソワ・オランド政権における改革を中心に——」『人事院月報』837号(2019年)8-15頁。
4. 「フランスにおける友愛原理に基づく連帯罪違憲判決とその意義——不法滞在幫助罪の免責、社会権への影響、法院弁護士役割——」『近畿大学法学』67巻1・2合併号(2019年)39-66頁。
5. 「フランスにおける2019年8月の公務員参加法制度改革——協定への法的効力付与に向けた授權、行政社会委員会の新設等——」『現代社会研究』22号(2020年)55-68頁。

小嶋 崇弘 教授

専門分野：知的財産法

研究内容 知的財産法の中でも著作権法および標識法(商標法及び不正競争防止法)を主たる研究対象としている。著作権法の分野では、権利制限規定と国際条約の関係、権利処理の円滑化を図るための制度などの研究を進めてきた。標識法の分野では、技術的形態の保護、商標権の保護範囲を画する混同概念の拡張化、インターネット上における商標の使用などについて研究を行っている。研究の方法論としては、主に英米法を対象とした比較法を用いる。

## 研究業績

1. 「標識法における機能性法理」『日本工業所有権法学会年報』42号(2018年)。
2. 「著作権等の集中管理を通じた著作物利用の円滑化」『著作権研究』42号(2015年)。
3. 「拡大集中許諾制度」『コピーライト』649号(2015年)。
4. 「著作権法における権利制限規定の解釈と3 step test (1~6・完)-厳格解釈から柔軟な解釈へ-」『知的財産法政策学研究』第26・27・30・31・36・45号(2010~2014年)。
5. 「米国商標法における混同概念の拡張について」『特許庁委託平成22年度産業財産権研究推進事業(平成22~24年度)報告書』(2012年)。

## 村山 元理 教授

専門分野：企業と社会、企業倫理、企業家史

**研究内容** 哲学・宗教学的な視点から企業・経営者についての研究。アメリカのMSR研究(経営・スピリチュアリティ・宗教)の研究動向。また経営理念史的に企業家を文献実証的に徹底的に調べる研究。社会的問題の解決を行う有徳な企業家が果たす社会的な意義、その背後にある宗教的な精神性とは何かを研究課題としたい。

- 研究業績**
1. 「日本のMSR(経営・スピリチュアリティと宗教)研究の立ち上げに向けて、補説：雪印乳業の創業スピリット」『日本経営倫理学会創立10周年記念誌－第2回「経営倫理」懸賞論文、優秀論文集』日本経営倫理学会, 2003年, p.19-31。
  2. 「企業倫理論」(『経営学のフロンティア』(21世紀の経営学シリーズ 第10巻)学文社, 2004年, p.454-474(第9章)を担当)。
  3. 「経営倫理教育と経営史―日立鉱山の煙害事件をケースとして」『公益学研究』8(1)公益学会, 2008年, p.19-30。
  4. 『中島久万吉と帝人事件―財界人から精神的指導者へ』学位論文, 一橋大学, 2015年。
  5. “Spiritual Leadership: Background, Theory, and Application to Japanese Business Leaders,” (in Hirochika Nakamaki, Koichiro Hioki, Noriya Sumihara, Izumi Mitsui, editor, *Enterprise as a Carrier of Culture – An Anthropological Approach to Business Administration*, Springer, 2019, p.29-45 (Ch.3) )。

## 山邑 紘史 准教授

専門分野：経済政策論, 社会的選択理論, 実験経済学

**研究内容** 経済政策をめぐる提案される多様な意見を集約する制度のあり方について, 社会的選択理論やメカニズムデザイン論の観点から分析を行っている。また, 経済理論に基いて提唱された制度が理論予測通りに機能するかどうかを検証するために, 経済実験に基づく解析を進めている。

- 研究業績**
1. Hagiwara, H. and Yamamura, H. (2020), “Upper set rules with binary ranges,” *Social Choice and Welfare* 54: 657-666.
  2. Hagiwara, H., Yamamura, H. and Yamato, T. (2018), “Implementation with socially responsible agents,” *Economic Theory Bulletin* 6: 52-62.
  3. Yamamura, H. (2017), “Interpersonal comparison necessary for Arrovian aggregation,” *Social Choice and Welfare* 49: 37-64.
  4. Yamamura, H. (2016), “Coalitional stability in the location problem with single-dipped preferences: An application of the minimax theorem,” *Journal of Mathematical Economics* 65: 48-57.
  5. Yamamura, H. and Kawasaki, R. (2013), “Generalized average rules as stable Nash mechanisms to implement generalized median rules,” *Social Choice and Welfare* 40: 815-832.

## 中村 一成 准教授

専門分野：日本経済史

**研究内容** 近現代日本の社会経済史を研究している。とりわけ農村や都市といったローカルな地域をフィールドとして, 医療の供給と需要が発現するための社会経済構造と主体的条件の解明を研究テーマとしている。個別の医療機関やその設立組織の経営に着目するのはもちろんのこと, それらが存立する地域全体の構造をとらえることを心がけている。分析対象は農村組織, 都市中間団体, 行政, 企業体など多岐にわたる。近年は北海道における漁業経営史料にも取り組んでいる。

- 研究業績**
1. 『1950年代と地域社会―神奈川県小田原地方を対象として』(共著), 現代史料出版, 2009年。
  2. 『飯田・上飯田の歴史 下巻』(共著), 飯田市教育委員会, 2013年。
  3. 「「国民皆保険」の形成と大都市国民健康保険―名古屋市の事例から―」『同時代史研究』第7号, 2014年12月。
  4. 「近代日本の農山村における病院医療供給と地域社会―名望家から産業組合へ―」『歴史と経済』第234号, 2017年1月。
  5. 「戦後「岩手の医療」における「医療と保険の一体化」」『社会科学年報』第52号, 2018年3月。